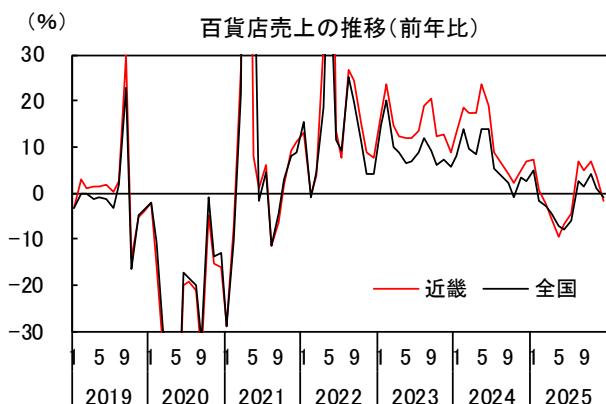
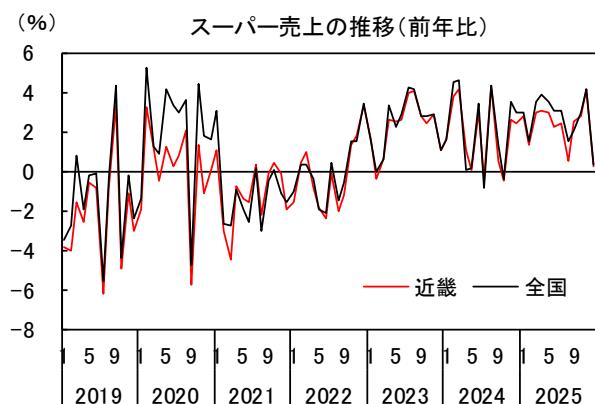


関西の景気トピックス【消費関連（25年12月）】

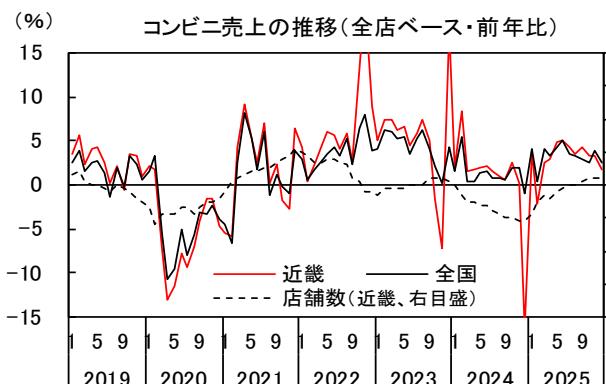
- 25年12月の百貨店売上（経済産業省）は前年比マイナス1.6%と5か月ぶりの減少となった。中国の渡航自粛によるインバウンド消費の減少が響いたとみられる。一方、スーパー売上も12月は前年比プラス0.3%と、前年は上回ったものの、伸び率はかなり縮小している。気温が平年を上回る推移となつたことで、衣料品の売行きが鈍化したことが響いたとみられる。
- コンビニ売上（経済産業省）は、12月は全店ベースで前年比プラス1.8%と10か月連続の増加となった。インバウンド消費の鈍化などもあり、売上の増加率もやや縮小する形となっている。
- 住宅着工戸数（国土交通省）の11月は、前年比プラス2.1%と2か月連続の増加となった（3か月移動平均）。4月からの改正省エネ法導入の影響をようやく脱したものの、伸び率はまだまだ小さい。
- 各業界で売上が前年を上回る動きがみられるものの、インバウンド消費の鈍化でやや売上の増加率はやや減速している。しばらくこの傾向が続く可能性がある中、今後の推移が注目される。



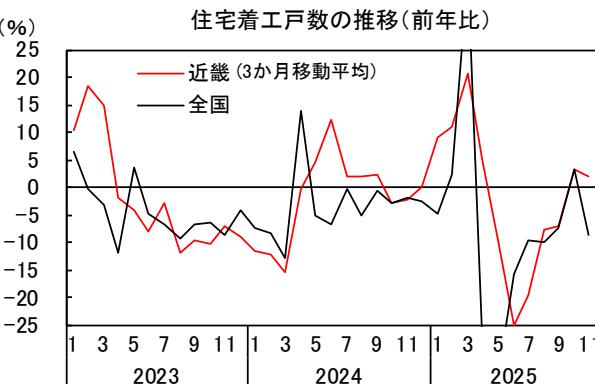
(出所) 経済産業省「大型小売店販売状況」



(出所) 経済産業省「大型小売店販売状況」



(出所) 経済産業省



(出所) 国土交通省「建築着工統計」